



デイキャンプ 利用
1,100円
残金 656円

敷地内には大和橋や菜の花、ハーブや夏みかんなどの食育ファームも

お手軽！
おすすめキャンプ飯



メスティン (アルミ飯ごう)

缶詰とり飯



シェラカップ (ステンレスカップ)

焼きリンゴ

- ①メスティンにお米に水と調味料を混ぜて約30分漬けて置く。
- ②やきとり缶を入れて混ぜ、油揚げや野菜類を上に乗せる。
- ③メスティンに蓋をして、固形燃料が消えるまで(約20分)加熱する。目安は蒸気が出始めて5分放置。
- ④火が消えたら五徳から降ろし、タオルで包んで約10分蒸らして完成!

- (下準備:りんごは半分は切って芯は取り除いておく)
- ①シェラカップにアルミホイルを敷き、りんごの芯をくり抜いた部分にバターと砂糖をのせ、シナモンパウダーを全体に振りかける。
 - ②敷いたアルミホイルでりんごを包み、固形燃料が消えるまで放置。

シュークリーム
290円
残金 366円



サクッと軽めな生地には、少しスパイスなバナナの香り♪



焼き菓子のクロッカンを210円ももあるよ♪

7 Patissier Cafe Frau

クラッシュ クロッカンスシュー クリーム 290円

成人女性に対する称号になっているドイツ語「Frau」。大人の女性が満足できるケーキ屋を目指して、カカオやチーズ、アーモンドなど、産地ごとの特徴を活かしたフランス菓子が並ぶ。また、ホワイトベッパーや米飴など、一風変わった隠し味にも注目。県外ファンも多いという、シェフ陣の季節メニューが待ち遠しい!

住 生駒市萩の台866-14
☎ 0743-28-1546 ☎ 11:00~17:30
休 火曜、水曜不定休(祝日は営業) Pあり
*イトインは1組ずつの貸切制

旅を終えて
久しぶりの外出。日々のデスクワークから抜け出して爽快MAXでした。デイキャンプも今度はバッチリ装備で参戦してみたいな♪



左から、マンゴーといちごの「フルール」460円、手作りマスカルポーネの「ティラミス」430円、「いちごのタルト」480円
*季節ごとにメニューは変動

近鉄萩の台
運賃 360円
残金 6円
近鉄奈良駅



3 OIWAKE PARK

奈良道分協議会や近畿大学農学部、地元福祉団体との農福連携で、かつての梅林風景を取り戻しつつある「追分梅林」。復興作業の際に余った広大な土地を有効活用しようと、「なんにもしない」ができる場所」をコンセプトに約4年がかりで整備。現在も開拓中だが、昨年未からキャンプ場としての利用が始まった。

住 奈良市大和田町1914-1 (追分梅林内)
P あり(無料)
HP oiwakepark.stores.jp
★予約は公式LINEから

- デイキャンプ1,000円/人
- 宿泊:1,500円/人
- *環境協力金として別途100円/人
- *4月の仮設トイレ設置後は料金変更予定



★ランチ noa

OIWAKEPARK向かいにあるテイクアウト・デリバリー専門のお弁当屋さん。旬の野菜を使用した、栄養士考案の彩り弁当が予約注文できる。

住 奈良市大和田町1914-1
☎ 080-3817-9478
*完全予約制(3日前の正午までに注文)
☎ 11:00~16:00 休 不定休

4 おいわけ 追分本陣 村井家住宅



江戸時代の19世紀初頭から中頃に建てられたとされる歴史的建造物。大和郡山との分岐点にあるため「追分」と呼ばれ、大名や役人たちの宿場として利用されていたそう。現在も住まわれているので外から見学を。
住 奈良市大和田町1912

5 むろのきとうげ 檜木峠 地蔵菩薩立像



檜木峠の頂上にひっそりと佇むはお地蔵さま。峠を行き交う人たちを見守っているのだろうか…。すぐ近くには指差し石標があり、その先には石仏がずらり。

6 歓喜の湯 (足湯)



天然温泉の足湯。生駒山を眺めながら、足の疲れをリセット。

日々の喧騒からちょこっとお暇
トレッキング&デイキャンプでリフレッシュ!

お出かけしたくなる季節が到来。たまにはパソコンやスマホ画面と向き合う時間を減らして、アウトドアを楽しみましょう。今回は、途中休憩でデイキャンプも楽しめるように、最小限の荷物で自然を満喫してきました。

本日のリュックの中身
・メスティン(アルミ飯ごう) ・シェラカップ(ステンレスカップ)
・五徳・固形燃料・ライター・ゴミ袋・レジャーシート
・コップ・水・圧縮ミニタオル・カトラリー・キャンプ飯の食材

2,021円の旅ルール
その1:所持金は2,021円(交通費込み)
その2:出発は近鉄・JR奈良駅、近鉄大和八木駅のいずれか
その3:車での移動は×(ただし公共交通機関は○)

2021YEN Map

1 そのみあがたにいますじんじや 添御県坐神社
大和国の添郡(今の奈良市や生駒市などを含む奈良県北部)にある(朝廷の直轄地)の地を守る神社として、古墳時代に鎮座したといわれている。南北朝時代に建てられた本殿は、五間社流造の檜皮葺が特徴で重要文化財に指定されている。隣接する根聖院には、「三ツツ」の地名の起源とされる、三つの穴があいた脱穀用の唐臼と伝えられる大きな石がある。
住 奈良市三碓3-5-8
☎ 0742-43-1428
HP http://soumi.sub.jp/

2 まおとこじぞう 間男地蔵
旧砂茶屋の辻に祀られているハンサムなお地蔵さま。元は300mほど離れた山の方にあったものが、お地蔵さまが人妻に横恋慕したのでここに移動して祀ったそう。

3 OIWAKE PARK
★ランチ noa 村井家住宅

4 歓喜の湯

5 地蔵菩薩立像

6 歓喜の湯

7 Patissier Cafe Frau

近鉄奈良駅

Yomiこ編集部長が旅人になってテーマに沿った小旅行を提案します。もつと気軽に手軽に、考えた「ふらりどこかへ行きたくなる」あの気持ちを2021円以内で収めました。封筒の中には旅のルールと2021円だけ。あなたはどっとう使う?